

# 会報

KAI-HOU

No.375

2025.3.17



2025年新年講演会 記念講演

[開催報告] 2024年度第5回理事会	1
[開催報告] 2025年新年講演会	2
[開催報告] 防災・減災企画	4
[開催報告] 第32回ワン・ワールド・フェスティバル	7
[開催報告] 2024年度大阪府消費生活協同組合優良役職員表彰	8
[連載] 「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	12
[スケジュール]	13

# 大阪府生協連 2024年度第5回理事会議事録

## 開催概要

- I. 日 時 2025年1月16日(木)  
11時30分～12時25分
- II. 場 所 都シティ大阪天王寺 5階 信貴の間
- III. 出席者
- (1) 理事（総数23名中、21名出席、2名欠席）
- ・会長理事 大江桂子
  - ・副会長理事 柴橋圭介、勝山暢夫
  - ・専務理事 中村夏美
  - ・常任理事 石原淳、金津正明、田邊新庫、谷川英子、羽多野宏子、藤井貴浩、森本秀友
  - ・理事 今口朋、木下高志、桐田剛至、久保幸雄、近藤真澄、立花紀子、椿原雅子、西田紀子、松田忍、藪内剛
- (欠席：中川恵、藤井優)
- (2) 監事（総数3名中、0名出席、3名欠席）
- (欠席：鷺嶺奈緒子、小寺峰志、山口雄司)
- (3) 陪席 ・事務局 栗山光一郎  
・事務局 奥州弘明
- IV. 議長 大江会長理事
- V. 議事の経過の要領との結果

定刻になり、中村専務理事より、総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。

続いて、大江会長理事が議長として挨拶し、議事を進行した。

## 審議事項

### 1 第64回通常総会の件

栗山事務局長より、議案書1次案として2024年度活動報告及び2025年度方針案について提案がされた。また、中村専務理事より、別冊資料P22(5)行政表彰の受賞者の記載が、前回理事会で確認された方から1名減少した経過について補足説明がされた。

羽多野常任理事から、別冊資料P22「2024年度に開催した学習会・研修会等」に記載している講師等の敬称・表記を統一するよう意見がだされた。

石原常任理事から、今回の提案では2025年度方針案が具体的に提案されておらず、審議すべき対象が明らかになっていないことから、審議・承認したこととはならない旨の意見がだされた。

討議の結果、第64回通常総会の開催日時、場所、

及び総会議案の構成についてのみ承認された。また、次回理事会で具体的な審議ができるよう、審議対象を明らかにした上で、2次案を事前に送付し、理事会へ意見を持ちよれるようにすることを確認した。

続いて、各分野別概況の原稿執筆を担当する理事等について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

### 2 2025年度年間日程（2次案）の件

栗山事務局長より、2025年度年間日程（2次案）について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

## 報告事項

報告事項に関して下記の報告がされ、全員異議なく、確認された。

なお、報告事項2. 能登半島地震支援活動に関して、中村専務理事より、大阪いずみ市民生協から鉄板の寄贈があったこと、事前にクリスマスカード作成のボランティアもあり「もとやスーパー」でクリスマスの景品として配布されたことについて補足説明があった。

また、報告事項4. 新法人フードバンク設立キックオフ連携企画に関して、近藤理事から、過去パルコープで行ったytv本社前での出展の様子について補足説明があった。

報告事項5. OCoNoMi おおさかに関しては、文書報告扱いとした。

中村専務理事より、2024年12月26日に開催された、消費者支援機構関西2024年度第9回理事会報告の記載が漏れていること、次回理事会の報告事項に記載する旨補足説明があった。

報告事項	報告者
<b>【大阪府生協連】</b>	
1. 分野別会議	栗山
2. 能登半島地震支援活動	栗山
3. 各委員会	
(1)健康チャレンジ実行委員会	栗山
<b>【会員及び友誼団体等】</b>	
4. 新法人フードバンク設立キックオフ連携企画	中村
<b>〈以下の報告事項は文書報告扱いとなります〉</b>	
<b>【会員及び友誼団体等】</b>	
5. OCoNoMi おおさか	

以上、すべての議事が終了したので、議長は12時25分閉会を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席理事及び出席監事は全員記名押印する。

# 2025年新年講演会を開催しました

1月16日（木）、都シティ大阪天王寺「吉野の間」にて、2025年新年講演会を開催しました。当日は73名の参加がありました。5年ぶりの開催となる今年の新年講演会は、日本協同組合連携機構（JCA）の比嘉政浩様（代表理事専務）を講師にお招きし、「協同組合のアイデンティティと持続可能な社会の実現に向けて～IYC2025をうけて～」をテーマにご講演いただきました。大阪ご出身ということで、聞きなじみのある大阪弁でわかりやすくお話いただきました。



日本協同組合連携機構（JCA）  
比嘉 代表理事専務

まず、2025年を二度目の国際協同組合年（IYC2025）とした背景や、協同組合に対する国連の評価や期待についてご紹介いただきました。

次に、IYC2025全国実行委員会から各協同組合への3つの行動提起について報告されました。IYCをチャンスと捉え、1人でも多くの人に「協同組合を知ってもらう（発信する）」こと、生協役職員が「自分の言葉で」協同組合の魅力を発信できるように「学ぶ」こと、が提起されました。また、協同組合の「目的（使命）」と「収支確保」が両立する事業方式の事例も紹介され、両立には「志」「効率的・効果的なビジネスモデルの構築」「組合員の参加（役割発揮）」が必要とのお話をいただきました。

最後に、協同組合間連携の経過や事例が紹介され、地域社会の課題解決に向けた連携・協力の広がりについてお話いただきました。

その後、4～5人のグループに分かれてグループ交流を行いました。講演の感想や「協同組合の魅力や好きなどころ」「2025年に協同組合としてチャレンジしてみたいこと」についての意見を交流しました。交流後、6つのグループより交流された内容について発表され、比嘉様から講評をいただき講演会を終えました。

## 〈参加者アンケートより抜粋〉

### 【比嘉専務の講演を聞いての感想】



12グループに分かれて交流しました

- どおりでお話が聞きやすいと思えば大阪弁！わかりやすく頭に入ってきました。せっかくの国連が推してくれている「協同組合年」。時間がなくならないうちに早く取り組みを進め、多くの人にアピール、浸透できるようにしたいです。具体的な取り組み方もご教示いただけただことでした。
- 国連がなぜ協同組合を評価しているのか、協同組合の価値を理解しそれを自分の言葉で、説明することが大切である

こと。IYC は多くの方に協同組合を知って頂ける、また、各協同組合が積極的な取り組みを進めていき、連携を進めていけるチャンスであること。比嘉様のお話を聞き、何ができるのかしっかり考えていきたいと思いました。

- とても親しみやすい口調での講演はあっという間でした。国際協同組合年は協同組合の輪を広げるチャンスであること。そして、自分でできることは、学び、自分の言葉で良さを伝えていくこと。協同組合の理解者を増やすことが大事だという事を今回の講演で学びました。
- 協同組合でも助けあいの精神のもと、社会の課題に早くから取り組んでいると思っていますが、認知度がまだまだ低く、評価されていないのだなと改めて感じました。“国際協同組合年”ということを知らせる、いいきっかけの年になるので、動画やバッジを活用して、コトバにしていくことも大切だと思いました。

### 【グループ交流を通じて考える「協同組合の魅力」】

- グループ交流では、大学生協から「大学生は生協を知らないひが多く、日本固有のものダサイと考えている」と発言され、改めて若い世代に協同組合を知ってもらう活動が緊急課題だと感じた。歯車の1つでなく、みんなで出資・運営・利用を基本に意見を出し合い、責任をもって行動し、楽しいことも・しんどいことも分け合うことができる所が魅力だと思います。
- 今回の会議もそうですが、地域生協、医療生協、大学生協、共済生協と展開している事業は全く異なっているのに「協同組合」という枠組みでつながりを持っていることが魅力だと感じています。
- 助け合いの組織というのが、どの協同組合にも共通していて、ノウハウを教えあったり災害時に駆け付けたり、みんなの力でなんとか良い方向にできるというのが魅力だと感じた。
- ①つながりがあること。平和や災害時にそれが発揮できる場所。②いろんな形で社会活動に参加できる機会を作ってくれていること。③学び、学びあえる機会を作っていること。そこから行動に移せる人を増やしていること。



「協同組合の価値・魅力」について話が盛り上がりました



各グループで交流した内容を全体で発表しました



グループ交流で見つけた「協同組合の魅力」を発表

## 「防災・減災」企画を開催しました

1月29日（水）に、大阪府生協連組織活動委員会主催の「防災・減災」企画を開催し、9会員生協から88名、運営スタッフ等を含めると116名が参加しました。

最初に行ったミニ学習会では、こくみん共済coop製作の「がぞく防災」パンフレットに沿って、ふだんのくらしでできる身近な防災・減災について学びました。

次に、ブース学習を行いました。会員生協、取引先業者・団体による、防災のとりくみや体験企画、防災食の試食などのブース展示を、5つのグループに分かれた参加者が順番に回っていきました。防災食についての説明を聞きながら実際に試食もでき、味や種類の多さに驚いていました。また、新聞紙でスリッパや簡易トイレをつくったり、VRで被災体験ができたりなど、体験企画も好評でした。

限られた時間での学習企画でしたが、参加者からは「学習会、ブース体験と盛りだくさんの内容で学ぶことが多かったです。」「今後地域での活動にも活かしていきたいです。」などの声が寄せられました。



開会



ミニ学習会 講師：篠崎さん

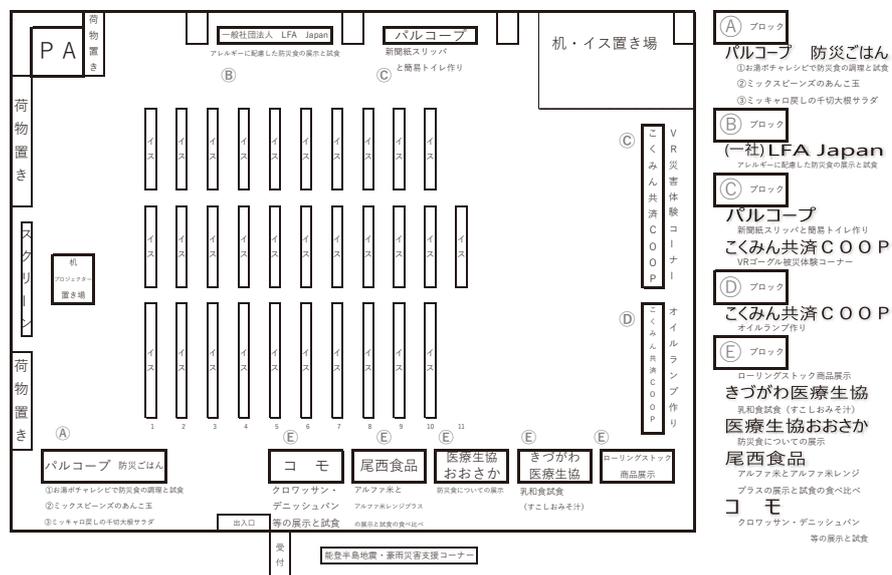


司会の立花さん

### ●防災・減災企画概要

- 【日 時】** 2025年1月29日(水) 10時～12時
- 【場 所】** おおさかパルコープ 京橋事務所（本部）3階 集会室
- 【参 加】** 9会員88名、組織活動委員・運営スタッフ・府連28名 計116名
- 【開催内容】**
- (1) 開会 司会：立花 紀子さん  
(大阪府生協連 理事/生活クラブ生協大阪 常任理事)
  - (2) ミニ学習会「がぞく防災」  
講師：篠崎 梨奈 さん  
(組織活動委員/こくみん共済coop 大阪推進本部)
  - (3) ブース学習
    - ① おおさかパルコープ
      - ・防災ごはん（デモンストレーションと試食）
      - お湯ポチャレシピで防災食

- ミックスビーンズのおんこ玉
  - ミッキャロ戻しの千切り大根サラダ
  - 新聞紙スリッパと簡易トイレ作り
  - ② こくみん共済coop
    - VR ゴーグル被災体験
    - オイルランプづくり
  - ③ 医療福祉生協おおさか
    - 防災食についての展示
  - ④ 大阪きづがわ医療福祉生協
    - 乳和食の試食（すこしおみそ汁）
  - ⑤ 一般社団法人 LFA Japan
    - アレルギーに配慮した防災食の展示と試食
  - ⑥ 尾西食品
    - アルファ米とアルファ米レンジプラスの展示と試食（食べ比べ）
  - ⑦ 株コモ
    - クロワッサン・デニッシュパン等の展示と試食
  - ⑧ ローリングストック商品の展示
- (4) アンケート記入
- (5) 閉会



### [参加者の感想]

- ミニ学習会では備蓄品で自分の考えていない品目がたくさんあり驚いた。特に嗜好品も被災した時には重要なものと納得した。
- ミニ学習会「かぞく防災」のお話がわかりやすく良かったので、地域でのとりくみ、学習会が開けたらと思いました。
- 【防災ごはん】以前チラシで「ビニールで出来る防災食」を知って、地域みんなで学習したいと思っていました。実際にやり方を見ることが出来たので参考になりました。

- 【新聞紙スリッパと簡易トイレ作り】身近な物で役に立つ知恵が知れて良かった。ネットなどで情報はたくさん取れるから、こうして一度でも体験していると非常時でもさっと身体が動くと思う。
- 【VR被災体験】VRでの体験は非常に参考になった。テレビ等でも映像を見たことがあったが、VRだと本当に目の前に濁流や火災が迫ってくる様子がリアルであった。
- 【乳和食】味噌汁に牛乳をいれてのむのは、家でたまにしていたが、フリーズドライ味噌汁＋スキムミルクでできること、面白いと思った。
- 【LFA Japan】アレルギーを基本に考えていることが素敵。アレルギーがある人（子ども含む）が多い今、すべての食品がアレルギー対応になったら、普段でも被災時でも考えなくても配布できる。物資を配布する時、特別なもの…と考えずに、平等に配れる（ストレスなく）。
- 【尾西食品】アルファ米の五目ごはんなど、備蓄の期限切れでよく食べたがレンジ対応が出たとは知らなかった。やはり熱々はおいしく、これからは入替の時の食べ切りがラクになりそう。
- 【コモ】割高だが60日保存で美味しいパンが食べられるのはいいと思いました。

## 【当日の様子】



ブース①防災ごはん



ブース①新聞紙スリッパと  
簡易トイレ作り



ブース②VRゴーグル被災体験



ブース②オイルランプ作り



ブース③防災食について



ブース④乳和食の試食



ブース⑤LFA Japan



ブース⑥尾西食品



ブース⑦(株)コモ

## 第32回ワン・ワールド・フェスティバル に参加しました

西日本最大級の国際協力のイベント「第32回ワン・ワールド・フェスティバル」が、2月8日(土)・9日(日)に梅田スカイビルで開催されました。

大阪府生協連が参加する OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）では、セミナーの開催とブースの出展を行いました。

セミナーは「IYC2025」をテーマに、大阪での協同組合・非営利協同セクターの連携や取り組みについて考える企画として2月8日に開催しました。

日本協同組合連携機構（JCA）常務理事の伊藤治郎さんによる基調講演では、「IYC2025～協同組合への期待と取組み～」と題して、協同組合の定義から、国際協同組合年のテーマ「協同組合がよりよい世界を築く」ための活動事例などについてお話いただきました。

次に、大阪ボランティア協会常務理事の永井美佳さんをコーディネーターに迎え、クロストークを行いました。まず、登壇者のコープおおさか子ども食堂フードバンクの松岡賢司さん、ワーカーズコープ・センター事業団関西事業本部の高橋弘幸さん、近畿労働金庫地域共生推進室の東中健悟さんから、それぞれの「SDGs・社会課題解決にかかる取組み」について報告がされました。その後、他団体との連携・協働を通じてよかったこと、想像以上に広がったことや可能性などについて、各登壇者・伊藤治郎さんとのクロストークを行いました。当日は33人の参加で会場の座席が埋まりました。

ブースでは、1日目に OCoNoMi おおさか構成団体の SDGs 活動を紹介するクイズ、2日目に体験プログラムとして「樹木樹齢当て」「お米重量当て」「VR 災害体験」「模擬紙幣枚数当て」を実施しました。クイズと体験企画の参加者には、NPO 法人大阪府海域美化安全協会からご提供いただいた「海辺の生き物消しゴム」や JA 大阪中央会からご提供いただいた「野菜消しゴム」「国消国産学習帳・クリアファイル」などをプレゼントしました。ブースには2日間で約416人が立ち寄っていただきました。



セミナー（基調講演）  
伊藤さん



クロストーク報告  
松岡さん



クロストーク報告  
高橋さん



クロストーク報告  
東中さん



クロストークコーディネーター  
永井さん



体験プログラム  
樹木樹齢当て



体験プログラム  
お米重量当て



体験プログラム  
VR 災害体験



体験プログラム  
模擬紙幣枚数当て



---

この度は、優良役職員知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。

38年前「食」にかかわる仕事がしたいといずみ市民生協に入協しました、お店や配送センター、商務や企画広報など多くの経験をさせていただきましたが、生協で働くことの意味を強く感じさせていただけたのは組合員活動でした。

台所の小さなつぶやきを集めて広げる・届けることが、歯車のようにいろいろなものを動かし、より良い暮らしやコト・モノの実現につながることを、地域の組合員さんに教えていただきました。子育てとの両立や障害の進行など自分自身にかかわる問題も、職場の仲間や組合員さんに支えられ乗り越えていくことができました。今後も、多くの方の笑顔につながる活動の役に立てる仕事を続けて行けたらと考えています。  
本当にありがとうございました。



大阪いずみ市民生活協同組合  
柴辻 康一さん

この度は、優良役職員表彰を頂戴し誠にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

いずみ市民生協に入協し、配送担当者として配属され、営業、店舗、配送センターの管理者など、色々な部署を経験させていただき34年、定年を迎える年にこのような表彰を頂き、本当に感慨深い思いです。

これまでに失敗や苦労も多くありました。それでも仕事を続けることができたのは、いつも温かく見守ってくださる上司、同僚や部下が支えてくれたおかげです。

たくさんの人と一緒に仕事ができったことが、私にとってかけがえのない思い出です。これまで温かく見守っていただいた皆さまには心から感謝申し上げます。

今後も変わらず、いずみ生協の発展に貢献できるよう、これまで以上に努力し力を尽くしたいと思います。本当にありがとうございました。



生活協同組合おおさかパルコープ  
山西 智之さん

---

このたびは表彰いただきありがとうございます。入協時「石の上にも三年」でいつの間にか40年！これまで頑張ってこられたのも組織、職場の皆様に支えられてのことと感謝申し上げます。また健康で頑張れたのは家庭での妻の支えがあったのことと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

年齢とともに身体的にはパワーダウンしてはいますが、残り期間も感謝の気持ちを忘れず大切に、これまで仕事で学ばせていただいたいろんなものをアウトプットし、微力ながらもお役立ちできるように励みたいと思います。



生活協同組合おおさかパルコープ  
鶴田 孝一郎さん

この度は、優良役職員表彰という栄誉を頂戴し誠にありがとうございました。44年前、当時の消費者を取り巻く社会の諸課題に、事業と運動の両面から立ち向かう活動に関心を持ち入協しました。

組合員活動や商品部、検査室などの業務に従事し充実した時間を過ごさせて頂けたこと、そして、それは仲間の職員や組合員の皆さんの励ましや支えがあって継続できたものと確信しています。本当に感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。

今暫く、地域や組織にお返し出来るよう、微力ではありますが関わっていきたいと思います。



大阪よどがわ市民生活協同組合  
馬場 徳二郎さん

今回、優良役職員として表彰いただき、ありがとうございます。

思い起こせば、よどがわ生協に入協した1983年当時、分割民営化前の大阪駅前で、巡行ミサイルトマホークの配備に反対する展示イベントが開催されていたと思います。それから40年を超える月日の中で、ロシアによるウクライナ侵攻や核兵器による威嚇など、平和が脅かされる事態が生まれています。一方で、核兵器禁止条約や被団協のノーベル平和賞受賞など、平和を守り核兵器をなくす運動も前進しています。

今後も生協が、商品に関わる事業だけでなく、広く平和を願う市民の拠り所の一つとして、活動に取り組みれることを祈念いたします。



大阪よどがわ市民生活協同組合  
北蘭 徹夫さん

この度は、優良役職員知事表彰をいただき、誠にありがとうございます。

よどがわ市民生協に入協して42年、共同購入担当に始まり、広報、機関運営、システム、人事総務、内部統制など様々な分野に携わり、多くのことを学ぶことができました。よどがわ市民生協の改革の節目々に自分なりに精一杯関わってきたつもりですが、その時々の上司や先輩方の指導・援助、同僚や後輩の支援・協力、関係者の皆様のご支援があってこそやってこれたのだと思います。

生協職員としての残された期間は僅かですが、「生協は組合員のくらしの実態と願いと共にある」という想いを大切に、私の経験を少しでも次の世代の人たちに伝えていければと考えています。



関西大学生生活協同組合  
寺坂 雄一さん

この度は優良役職員表彰に選出頂き、大変光栄に感じております。

入協以来「安全・安心」をモットーに業務に携わってきました。

お客様から頂戴する「ご馳走様でした!」「美味しかった!」の一言が働く活力になり、今日に至るまで頑張り続けることができました。

常日頃私を支え続けてくれた同僚はもとより、叱咤・激励の篤き指導で育て、見守り続けてくれた上司や先輩社員のお陰で、今の私があると感じています。

最後になりましたが、今回この様な機会を与えて頂いた皆様に心から感謝いたします。

# サラダボウル

## ～ひとりひとりが輝いて～

### 新たな取り組み「歩こうプロジェクト」

北大阪医療生協  
地域班長 西浦 明子

毎日の様に新聞、テレビ、ラジオ等で地震、紛争等災害のニュースが報道されます。近頃では災害時における準備確認（防災グッズ）等の映像が流れていますが、皆さんはどの程度用意されていますか。よく枕元にリュックの準備をされている等お聞きしますが、あれこれ用意していくと限りが無いくらいの量になります。どこまで絞りこむ事ができるか難しい判断になると思いますが、一番大事な物は何でしょう。私はそれは自分の健康な身体だと思っております。いくら物が揃っていても身体が思うように動かなければ上手く活動できないのではないのでしょうか。

北医生協では常に患者様の生と死に携わっています。だからこそ健康寿命の大切さを多くの方に知って頂く為、コロナ禍で皆さんの生活が大きく変化した時期に【歩こうプロジェクト】を生協活動の一つとして発足しました。一人でも、家の中でも、お金をかけずに（これ大事）できる病院スタッフのバックアップ付きの取り組みです。無理せず歩いて基礎体力の向上、寝たきり予防、認知症予防への取り組みとして始められました。基礎体力はいざという時、最も必要ではないのでしょうか。

歩こうプロジェクトは既に第三回を終了し、個人から団体へ、組合員様と北医生協リハビリスタッフと共に箕面地域周辺を歩くプロジェクトに幅を広げて活動しております。

これからも色々な災害が予想されますが、それらをはねのけ、乗り越える身体作りを今から少しでも皆さん作っていきませんか！



## スケジュール

### 3月

- 4日(火) OCoNoMi おおさか第30回幹事会
- 5日(水) 第1回生協大会実行委員会
- 6日(木) 第4回ジェンダーフォーラム協議会
- 7日(金) 3月度健康チャレンジ実行委員会
- 7日(金) みどりのトラスト協会理事会
- 8日(土) 震災復興応援イベント3.11 from KANSAI
- 10日(月) 大阪府食に関するリスクコミュニケーション
- 12日(水) 第2回文楽・コンサート実行委員会
- 12日(水) 新法人フードバンク設立事務局会議
- 13日(木) 第6回理事会
- 14日(金) 2024年度第3回近畿地区生協府県連協議会
- 16日(日) 日本生協連イタリア協同組合視察研修(～22日)
- 17日(月) 新法人フードバンク設立準備会
- 18日(火) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 19日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 25日(火) 消費者支援機構関西(KC's)理事会
- 27日(水) 第5回組織活動委員会
- 27日(水) 全大阪消費者団体連絡会理事会

### 4月

- 2日(水) 関西地連第5回運営委員会・総会議案検討会議
- 4日(金) 4月度健康チャレンジ実行委員会
- 9日(水) 第3回文楽・コンサート実行委員会
- 9日(水) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 16日(水) 第2回生協大会実行委員会
- 21日(月) OCoNoMi おおさか第31回幹事会
- 23日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 24日(木) 消費者支援機構関西(KC's)理事会
- 25日(金) 第3回監事会

### 5月

- 2日(金) 5月度健康チャレンジ実行委員会
- 14日(水) 消費者支援機構関西(KC's)常任理事会
- 15日(木) 第7回理事会
- 21日(水) 第3回生協大会実行委員会
- 21日(水) なにわの消費者団体連絡会定期総会
- 28日(水) 第6回組織活動委員会

大阪府生協連 第64回通常総会 6月19日(木)

